

液晶画面の説明



- ① 空間モード
- ② 物体モード
- ③ 測定された温度
- ④ 計測履歴
- ⑤ 電池残量
- ⑥ 音量
- ⑦ 摂氏(°C)華氏(°F)
- ⑧ 計測履歴メモリ

セット内容

本体×1
専用巾着×1

※単4電池2本を別途ご用意ください。

注意 乾電池の＋を間違えないように注意して取り付けてください

電池を入れる際、電池カバー蓋の▽向きにスライドして蓋を開けます

電池カバー



はじめに

このたびは、非接触型温度測定器をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用前には必ずこの取扱説明書をお読みになり、大切に保管してください。

※本製品は医療用の体温計ではありません。

安全に関する注意事項

この取扱説明書では、警告内容を次のように規定しています。

警告 :その事象を避けなければ、軽傷または中程度の障害を負う可能性のある場合、および物的障害の可能性のある場合に用いています。

注意 :製品を正しくご使用いただくための情報を記載しております。

本製品を安全かつ支障なくご使用いただくために、次の各指示事項にご注意ください。

警告 :引火性のあるガス、液体、粉塵などの漂うところなど危険領域で使用しないでください。

注意 :長時間使用しない場合は、漏洩による故障を防ぐため、電池を取外して保管してください。

注意 :耐水性はありませんので、本製品に水分をこぼさないでください。本製品内部が濡れると故障の原因となります。



測定方法

測定対象から3~5cmの距離に温度測定部を向けて **SCAN** スイッチを押してください。

基本操作

1. 本体裏面にある電池カバー蓋をあげ 単4乾電池2本入れます。
2. **SCAN**ボタンを1回押します。
3. 電源が入っている状態で、**MODE** を押すと空間モード、再度 **MODE** を押すと物体モードに切り替わります。



空間モード(表面温度測定)
> 通常の物体の表面温度を測定します。



物体モード(温度補正モード)
> 表面温度から補正値を加えた温度を表示します。

4. +ボタン、-ボタンで、測定メモリーが確認できます。

※温度補正モードでの表示温度は一次スクリーニングを目的とした参考値となります。正確な体温は医療用体温計で測定してください。

MODE 長押しで各種設定(+/-で変更)

1. MODEを長押し(3秒ほど)するとF1→F2→F3→F4と設定が切り替わります。
+/-ボタンで、各種の設定ができます。

F1: °C(摂氏)/°F(華氏)の切り替え

F2: アラーム温度の設定(初期設定38°C)
物体モード(温度補正モード)時にアラームを鳴らす温度の下限値を設定します。
(設定範囲37°C~42.5°C)

F3: 温度誤差調整機能
温度補正(初期設定0.0°C) 表示する温度に補正値を設定することができます。医療用体温計で測定した数値との測定誤差を補正値として設定してください。
(補正範囲-2.0°C~+2.0°C 0.1°C単位)

F4: 音量調整機能
アラーム設定(初期設定ON) プザーによるアラームのON/OFFを切り替えることができます。